



## 多様性を理解し、自分と向き合う

校長 関 勝 志

最近、電車に乗っていてよく思うことがあります。お年寄りに席を譲る人が少なくなったということです。けれども、人が不親切になったということでもない気がします。自分の都合（スマホ操作、おしゃべり、読書など）に夢中で、すぐそばにお年寄りが立っていることに気付かないのではないかと思います。

また、ヘルプマークを身に付けている人を見かけます。ヘルプマークは、東京都福祉保健局により2012年（平成24年）に作成されたピクトグラムです。義足や人工関節を使用している方や難病の方、精神疾患のある方、妊娠初期の女性、不安を感じやすく周りの理解や配慮が必要な方、知的障害や発達障害のある方など、援助や配慮を必要としていることが外見では分からない人たちがいます。周りの人たちに、自身が配慮を必要としていることを知ってもらい、援助を得やすくなるように作成されました。

これらの病気や状態は、見た目にはなかなか分かりません。「元気そうに見えるけど、実はつらい」「困っているんだけど、どう助けを求めていいか分からない」という方たちは少なくありません。ヘルプマークを身につけていることで、周りの人に「もしかしたら、この人は何か困っているかもしれない」「少し手助けが必要かもしれない」ということを知らせることができます。

人は外見だけではその人のすべてを知ることはできません。しかし、自分とは違うということは分かります。この世に一人として自分と同じ人はいません。みんなどこかが違います。それが多様性です。

人種や国籍、性別、年齢、宗教、性的指向、障がい、価値観、考え方、得意なこと、好きなことなど、様々な違いがありますが、多様性とは、単に様々な違いをもつ人たちが共存していることのみを意味するものではありません。その違いを積極的に受け入れ、尊重し、活かすことを意味しています。

多様性を少し違った視点から考えてみると、たくさんの色がそろった絵の具です。もし赤色しかなかったら、どんな絵が描けるでしょうか。空も、向日葵も、リンゴも、みんな同じ赤色になってしまいます。でも、たくさんの色があれば、空は青色、向日葵は黄色、リンゴは赤色と、それぞれのものがもつ本当の色を表現できます。また、赤と白を混ぜると、きれいなピンク色が生まれます。調和することで新しい色を創り出すことができるのです。

また、多様性はパズルのピースともいえます。パズルを完成させるためには、違う形や色のピースすべてが、かけがえのない存在です。

小平四中にも多様性があります。その一つが「多様な学び」です。クラス（在籍学級）以外の学びの場所として、「カルガモ教室」「一橋教室」「学び直し教室」があります。「カルガモ教室」は学校生活の不安を和らげたり、自分のペースで学習したりする場所です。「一橋教室」は人とのコミュニケーションや読み書きなどの苦手を克服する場所です。「学び直し教室」は小学校段階からの基礎的な学力を身に付ける場所です。

「多様な学び」を利用していることもたちに共通していることは、自分の不安や苦手としっかり向き合っているということです。自分が困っていることや苦手なことを他人に知らせるのは、大人でも勇気が必要です。「変な風に思われるんじゃないか」と心配になります。そんなとき、周りの人たちが多様性を理解する人たちだったら、ありのままの自分を出すことができます。それこそが成長や変化の始まりです。自分らしく生きていくための大切なステップです。

多くの子どもたちが、毎日登校して、クラスで授業を受け、給食を食べ、昼休みには校庭で遊び、行事や部活動にも取り組んでいます。一見問題なく学校生活を送っているように見えますが、本当に問題はないのでしょうか。自分としっかり向き合っているのでしょうか。

他人の多様性と自分の多様性、社会の多様性を理解し、自分と向き合うこと、そして周りの人と調和することが大切です。困ったことやご心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。



## 「1年生の様子」

学年主任 真畑 佳奈

入学し、あっという間に1か月が過ぎました。新しい制服に身を包み、緊張した面もちで新入生ガイダンスや担任からの説明に一生懸命耳を傾けていました。はじめてのことが多い日々でしたが、週を追うごとに学校生活にも慣れ、表情も穏やかになってきたように思います。各教科の授業では意欲的に取り組んでいるようです。部活動への入部も決まり、中学校生活が本格的に始まろうとしているところです。

5月には中学校初めての運動会を控えています。体育委員を中心に、自分たちで選手決めや作戦を考えています。自分の全力を出し切り、仲間と協力して生徒主体の運動会を成功させましょう。

## 「2年生の様子」

学年主任 岩崎 昌之

4月8日、新たな目標を胸に新年度のスタートをきりました。入学式準備や入学式では、四中の代表として、先輩として、非常に素晴らしい態度で取り組みました。この1か月間の生徒の様子を見ると、昨年度の経験を基に2年生としての自覚をもち、生活面や学習面など様々な場面で意欲的に取り組み、頼もしく思います。

学年目標（3年間）：『きらめき』 第2学年の目標：「環」自分たちで環境をつくる

今年度の柱は、自ら考え、行動する。仲間と協力して物事に取り組む。生徒たちの素晴らしい力をさらに向上させていくために教員一同全力でサポートしていきます。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

## 「3年生の様子」

学年主任 小城 吉寛

昨年の春、新2年生、先輩としての役割に期待と不安の中にいた生徒たちが、今や学校の中心となり、存在感を示しています。対面式は昨年度から周到に準備を進め、全体の進行から委員会、部活動紹介など、全校生徒が揃った最初の行事を成功させました。各クラスでは、エンカウンター、委員・係・班編成を通じた役割分担を行い、本格的にスタートした授業に臨み、新しい仲間との関係づくりにも励んでいます。今年度の学年目標は「飛躍・貢献・自己実現」です。これまでの挑戦や学びを土台に大きく飛躍し、リーダーシップを発揮して貢献、そして自身の将来を見据え自己実現に向けて強い思いをもってほしいと願っています。

## ■朝の登校について■

新年度が始まり、朝の登校の様子を見てみると、多くの生徒が時間に余裕をもって登校し、元気のよい挨拶で1日をスタートしています。朝は校長と教員で正門で出迎えております。ギリギリで登校し、慌ただしい気持ちで1日が始まらないように声かけをしています。気持ちにゆとりがもてる学校生活ができるよう、ご家庭でも余裕をもった登校を促してください。お願いします。



## ■生徒の活躍■

<卓球部> 小平市春季卓球大会中学生の部 女子団体戦 準優勝 Aチーム  
女子シングルス 第5位 吉田 千紘 第5位 松田 千咲

<陸上競技部> 第19回東京都中学校春季陸上競技大会 女子100m 1位 藤井日菜乃 12秒49

<テニス> 第8ブロックテニス選手権大会 ダブルス 3位 吉田龍之介・木野佑都 組 ※都大会出場

## ■5月の主な行事予定■

1日	眼科検診	12日	全校朝礼 専門委員会	23日	英語検定
2日	保護者会(1)		教育実習始まり	28日	運動会予行
7日	クラス目標発表会	13日	中央委員会 耳鼻科検診	30日	運動会準備
8日	心臓検診	19日	生徒会朝礼	31日	運動会 学校公開
9日	避難訓練	20日	音楽鑑賞教室(2)		教育実習終わり

## ※学校の安全管理について※

5月8日午前、立川市の小学校において、校舎に侵入した男性2名が窓ガラスを割るなど暴れ、止めに入った教職員が怪我をする事件が発生しました。本校では、生徒及び教職員の安全確保に万全を期すため、緊急時の対応を確認するとともに、以下のような対応をします。保護者の皆様にもご協力をお願いします。

①常時、正門はかんぬき錠で閉門します。ご来校の際はかんぬき錠を外していただき、お帰りの際はかんぬき錠で閉門してください。かんぬき錠は鉄格子の隙間から手を入れて操作することができます。

②ご来校の予定がある場合は事前に電話や連絡フォームでご連絡ください。ご来校の際は受付（職員玄関）で受付簿に記入し、名札を着用してください。